

多自然川づくり取組事例

タイトル : 菊池市かわまちづくりにおける合意形成について		
水系 / 河川名 : 菊池川水系迫間川	河川分類 : 中小河川	
河川の流域面積 : 996(菊池川水系)	整備計画流量 : 700m ³ /s(迫間川)	セグメント : 1
事業 : 環境整備	事業開始年度 : 令和2年度	
目標設定 : 定性的	段階 : D(実施・施工時)	
課題・目的(主な) : 瀬・淵の保全・再生・創出、水辺へのアクセス改善		
工法(主な) : 護岸整備、樹木伐採、除根、階段工の整備、管理用道路の整備		
配慮事項(主な) : 河川景観への配慮、委員会、協議会等の開催		

背景・課題、目標設定

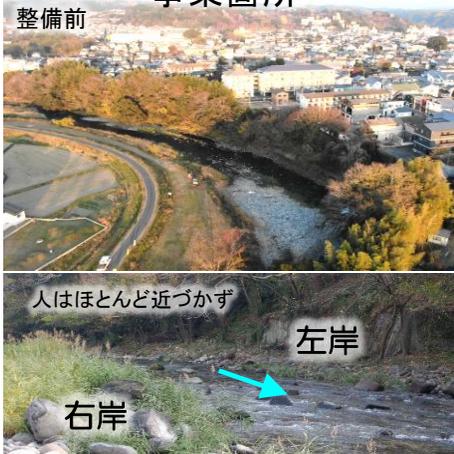
〈背景・課題〉

玉祥寺・隈府地区周辺の迫間川は、菊池市の第2次菊池市総合計画にて、「にぎわい交流ゾーン」に位置付けられており、観光客の誘致に取り組んでいるが、迫間川へのアクセス路等老朽化が進んでおり、人通りは少なく安全性も低下していた。

〈目標〉

この取り組みに対し、歴史的まちなみの隈府地区(左岸)と田園風景の広がる自然豊かな玉祥寺地区(右岸)を結び、新たな河川景観とにぎわいの創出。

菊池市かわまちづくり
事業箇所



取組内容・対策例(1/2)

〈取り組み①〉【エントランス、階段、手摺り整備】

隈府地区から河川へアクセスとして、高齢者の利用を考慮し、既設の階段とエントランスの修景する事で、より安全な回遊性を良くすることを目的として階段からエントランスの一連を改修。さらに改修した階段に新たに手摺りを設置する事で、安全性の向上を図った。

※整備にあたり、菊池高校がデザインを検討。



取組内容・対策例(2/2)

〈取り組み②〉【飛び石整備】

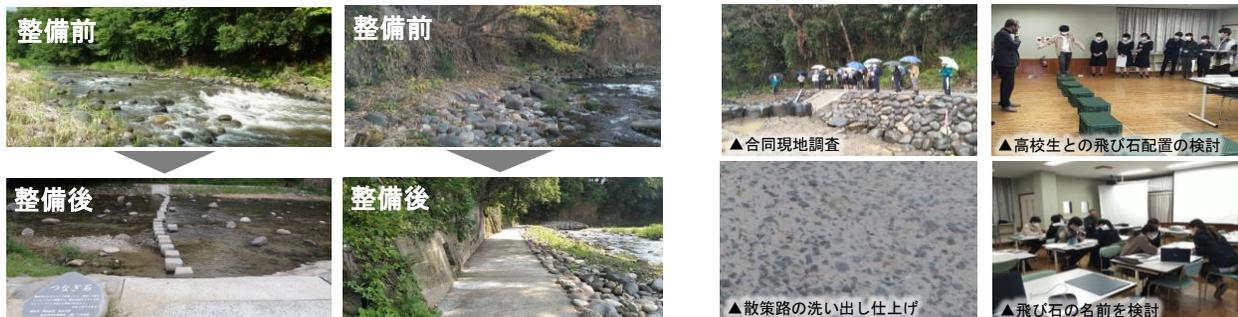
川で分断されている左岸の隈府地区と右岸の玉祥寺地区を結び、回遊性を良くすることを目的として飛び石を整備し、飛び石周辺の水辺へのアクセスとして散策路も合わせて整備した。散策路は洗い出し仕上げにする事でコンクリートの明るさを抑え周辺環境に馴染み・景観的持続性に配慮。さらに滑り止めの効果もあり、水際への安全性を確保した。

※整備にあたり、菊池高校と協働で飛び石に関するワークショップを行い、実際に工事現場での飛び石設置箇所確認を実施。合同現地調査を踏まえて飛び石の配置や名前を検討。

※“川とまちの繋がりを身をもって感じられるものにしたい”

“世代を通して菊池の活動・魅力を繋げていきたい”

という熱い想いにより『つなぎ石』と命名。



モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

(アピールポイント)

【地域の望む整備の実現】

かわまちづくり推進協議会やかわまちづくり会議を通して、数多くの社会実験やワークショップ(約40回開催)を地域の方々と連携する事により、スムーズな課題解決とより良いかわまちづくりの検討・実現が可能となった。

【副次的効果】

結果として市、地域住民との合意形成を早期にまた密に行う事で、効果早期発現とコスト縮減が実現できた。

(今後の対応)

・整備完了後も管理者である菊池市では、かわまちづくり推進協議会等を通じて、引き続き地域と協働した維持管理を実施していただく。

・河川管理者として国では、利活用状況のみならず、維持管理状況(植生繁茂状況)や景観、河道の状況(瀬や淵)などについてもモニタリングを実施していく。



菊池市かわまちづくり推進協議会



菊池市かわまちづくり会議



備考